感動を生む。想いをつなぐ。

The Entertainmedia Company



J:COM インタラクTVサービスにおける ポケットカルテ サービス概要

2014年 3月 12日

株式会社ジュピターテレコム

サービス戦略本部

ポケットカルテとは ··· EBMに必要な個人の医療情報管理に

I:COM

(Evidence Based Medicine: 時系列での診療/調剤記録 等のデータに基づく医療

- 口 京都医療センター医療情報部長 北岡有喜博士が考案・開発し、特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)が運営するクラウドベースの個人向けの医療情報管理サービス。自分自身の「健診履歴や受診履歴」を生涯にわたり管理できる PHR(Personal Health Records: 個人健康情報管理)の先進事例。
 - 「マイカルテ」、「電子版お薬手帳」、「ヘルスケア家計簿」等を無料サービス提供中
 - ・ ポケットカルテ対応医療機関(京都府下エリア): 病院 6ヶ所、調剤薬局 40ヶ所
 - 登録ユーザ数: 約3万人(透析手帳等テスト中のサービスユーザを含めると約8万人)
- ロ 医療機関の「デジタル領収書」管理サービスも構築し、医療費控除申請にも活用可。
 - 平成21年度総務省の「ICT経済・地域活性化基盤確立事業(ユビキタス特区事業)」 『医療機関のデジタル領収書プラットフォーム構築とヘルスケア家計簿との連携による 地域住民への付加価値サービスの実現』として、2009年11月に採択され、構築された。
- □ 京都地区では複数の病院/薬局で利用が可能な「<u>地域共通診察券</u>(すこやか安心 カード)」が発行され、ポケットカルテとの連携が開始されている。
 - ・ 利用者の氏名、生年月日、保険者番号、医療機関番号/診察券番号(30件分)を記録
 - ・ 京都府下(京都市・宇治市・城陽市、久御山町)と奈良県生駒市の約50の医療機関
- ロ J:COMでは、2013年 10月から、京都みやびじょん局の<u>インタラクTVサービス</u>にて TV向けに トライアル提供開始。
 - 個人でのケータイ/スマホ/PC/タブレットでの利用、地域共通診察券に対応した病院でのキオスク端末での利用に加え、シニア層に身近なTVでの閲覧にも対応。

ポケットカルテによる医療機関との連携(概念図)





ポケカル対応

病院·診療所

病院側で検査結果を upload

レシート上に印刷された QRコードを患者自身が 読取り、登録が必要 (本人了解での取得確認)

地域共通診察券 対応 病院·診療所



院内のキオスク端末

SCCJとサービス連携 (医事会計システム等と連携)



地域共通診察券で 個人を識別しており 自動upload

ポケットカルテ (SCCJクラウド)

検査結果履歴参照

医療費明細管理

電子版お薬手帳

閲

PC ケータイ スマホ タブレット ポケカル対応 調剤薬局



SCCJとサービス連携 (POS等と連携)

薬局側で処方薬情報を upload

レシート上に印刷された QRコードを患者自身が 読取り、登録が必要 (本人了解での取得確認)

医療機関や薬局で レシートを受け取ります。※1



PHS・携帯電話にデータを 取り込み、サイトにアクセスします。



ポケットカルテ上で、登録した 医療費情報を確認できます。



医療費控除明細が 簡単に作成できます。



医療費控除申請

【J:COM TV加入者】 (インタラクTVサービス)

TV向けに画面最適化



© Jupiter Telecommunications Co., Ltd.

ポケットカルテ インタラクTV画面







ID/PW 入力画面





現在は、任意の英数6文字以上、Max 16文字

現状は、TVリモコンのチャンネルボタンでも 入力が容易なように、自動車運転免許様の4桁 以上8桁以下の数字列2組で認証するスタイル



「健診結果を見る」: 検査結果履歴参照









「お薬手帳を見る」: 電子版お薬手帳





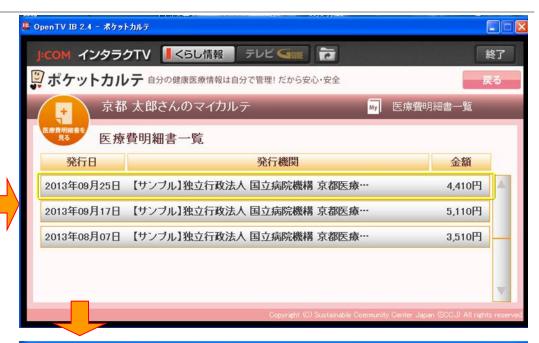




「医療費明細書を見る」: 医療費明細管理①





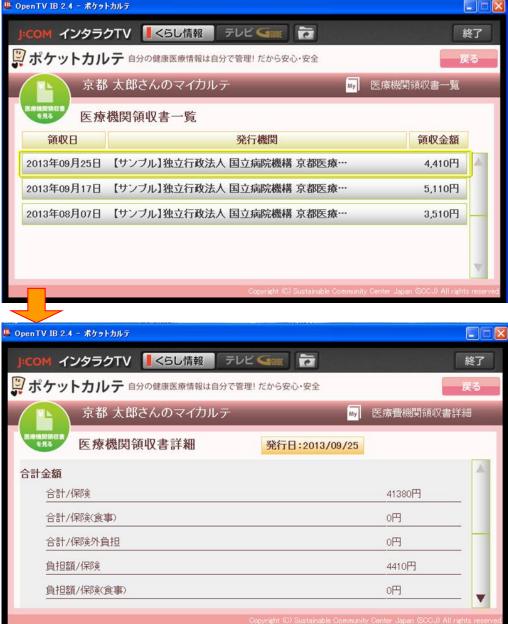




「医療機関領収書を見る」: 医療費明細管理②







参考: ポケットカルテの沿革



- 2008年10月 雷子カルテを活用した医療サービス「ポケットカルテ」サービスをスタート 「マイカルテ」・「電子版お薬手帳」・「医療機関検索」等のサービスをスタート 2009年12月 京都ユビキタス特区で、医療機関の「デジタル領収書」サービスを提供 ~総務省の「ICT経済・地域活性化基盤確立事業(ユビキタス特区事業)」に採択~ 2010年2月 「ヘルスケア家計簿」サービスとの連動による「医療費控除申請」サービスをスタート 2010年8月 地域共通診察券(仮称:すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉 情報基盤整備事業~総務省平成22年度「地域ICT利活用広域連携事業」委託先 候補として採択~ 内閣官房高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)が推進する 2010年9月 「どこでもMY病院」構想の実現説明資料内で「ポケットカルテ」が紹介される 2011年1月 京都府下3市1町(京都市、宇治市、城陽市、久御山町※約79万世帯)で、住民 自身が医療・健康情報を管理できる「地域共通診察券」サービスを提供開始 ~ 総務省「地域ICT 利活用広域連携事業 |~ 2011年3月 内閣官房 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)第8回<u>医療</u> 情報化に関するタスクフォースに招聘され、「ポケットカルテ」サービスの概要を説明
- 2011年11月 「電子版お薬手帳」サービスが全国の500以上の調剤薬局に普及